



宗教法人 大智寺役員会
4月19日(日)

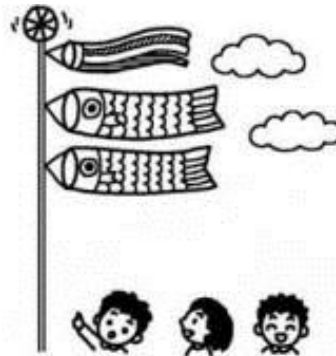
さわやかな五月晴れが広がり、
大きく深呼吸したくなるようなこの頃
皆様、お変わりありませんか？



4月19日 しとしと雨が続く中、春の大智寺役員会が開かれました。
大智寺総代様をはじめ地域の世話役の方々 14名全員にお集まり
いただき、今回は主に今年度の年間計画について話し合いました。

今年は、例年通りのスケジュールに大きな変更はありませんが、
変更点や日程の決定、追加項目は以下の通りです。

- 夏の大掃除の日程：8月2日(日)朝7時～
(今回は里4号の方々にお願いします)
- 8月お盆の棚経時間について
8月14日の里1号の棚経を6時半開始に変更
(昨年は7時開始でしたが、30分前倒し)
- 木の伐採について
今年度中に、山門前にある大きな榎の木を
2本とも伐採予定
(榎の木の根が大きく張ってきており、山門脇の石垣を崩す恐れがあるため)



その他、妙心寺への新亡団参りや岐阜西教区花園大会
など、大型バスを利用する際、今までバスの発着所は
旧JA山県支店でしたが、今後は大智寺墓地前駐車場
に変更します。

また今年度も例年通りの行事がおこなわれます。お寺
の興隆のため総代役員の方々をはじめの皆さまの
温かなご理解ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

お墓前の桜について

雨がようやく上がったと思った4月下旬に
お墓前の桜に毛虫がたくさん発生しました。
境内でもマイマイガの毛虫が昨年あたりから
よく見られるようになり、本堂前の桜の葉は
ほとんど食べられて、枯れる寸前となりました。



今回は、お墓参りしていた檀家様が毛虫大量発生に
気が付いて下さり、お寺に教えていただき
迅速な処置につながりました。
本当にありがとうございました。
なかなか目の行き届かないこともありますので
今後も何かお気づきのことがありましたら
お寺までご一報ください。
宜しく願いいたします。

大智寺だより

平成27年 阜月
Vol.63

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp
《ホームページ》

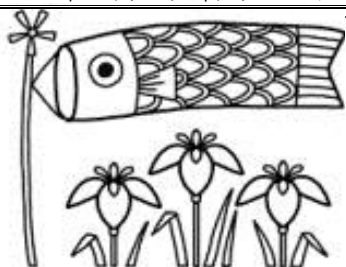
大智寺 検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去すべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

4月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます



5月5日 お花まつり

ようやく初夏の香りが漂う5月となりました。
今月5日には本堂にてお釈迦様のお誕生を
お祝いする法要を行います。



14時より皆様と一緒に本堂にてお経をお唱えし、

その後順々に小さなお堂の中の誕生仏に甘茶をかけてお祝いします。

このお花まつりの時にお出しする誕生仏は、いつも見なれているお釈迦様のお姿と違い
生まれたばかりの幼児独特の肉付きで、かわいらしいお姿です。

大智寺では、お檀家様方の年忌法要の際にいつも甘茶をお出ししているの
で、珍しく感じられる方も少ないと思われませんが、

お釈迦様の誕生を祝い天上の龍が降らせた甘雨にたとえて、お花まつりでは甘茶をご接待しています。
どなた様もお気軽におまいりください。

岐阜西教区花園大会



岐阜西教区に属する妙心寺派寺院の檀信徒が一同に集まり、
お釈迦様の教えにそって生活していくことを再確認し
「今」を感謝する場である花園大会が今年も開かれます。

日程は6月18日(木)、長良川国際会議場にて朝10時より15時の予定です。

今年は、特別講演にて玄侑宗久(げんゆうそうきゅう)師のお話を拝聴します。

この方は福島県三春の福聚寺という妙心寺派のお寺の和尚様で

2001年、小説「中陰の花」で芥川賞を受賞し、広く知られるようになりました。

最近では、東日本大震災による福島原発問題に積極的に取り組まれており、

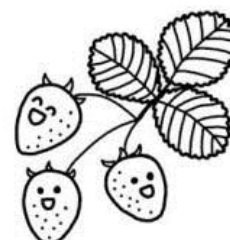
2011年より東日本大震災復興構想会議委員として活躍中です。

年に一度の機会ですので、ご希望の方はどうぞご参加ください。(案内チラシはお寺にあります)

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑬



「どうしてお数珠は左手にかけるの？」

ある法要でお母さんからお数珠のかけ方を教わった小さな子が、

「どうして？右手にお数珠かけたら、あかんの？」と無邪気に聞いていました。

若いお母さんは「左手って決まりなの、左手にかけなさい」と困りながら言い聞かせていましたが
子どもがもう少し大きくなったら、説明してあげたいものです。

仏教が生まれたインドでは、基本的にカレーと薄焼きのパン(チャパティ)又はご飯を右手で食べますが、
右手は食事だけでなく、人と握手する時や人のものを触る時に使う清潔な手とされています。
一方、トイレトペーパーが常設されていないインドでは、トイレで排泄をすると左手で清めます。
トイレには水道の蛇口とバケツがあり、用が済んだら左手を洗えるようになっているそうですが、
左手は汚れたものを触る手、不浄な手として位置づけられています。

こうしたインドでの習慣から、右手は清浄な悟りの世界(仏)を意味するようになり
不浄で迷いの世界(凡夫)を意味する左手にお数珠をかけるようになりました。

左手にお数珠をかけて右手と合わせ合掌する姿は、

私達凡夫がお数珠の力で仏様の世界に近づく姿を象徴していると言えるのです。

日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31 ページより

13

「爪つめの上端うわばに置ける土つち 三悪道さんあくどうに墮入りて」

ちょっと文脈の切れ目になっているので、前回の部分を補足すると人間の身を受けて この世に生まれくるということは（前回部分）例えていうなら、細い爪の上に、たまたまうまく乗った土のようなもの。たくさんの土を自分の爪の上に乗せようとしても、ほとんどの土は落ちてしまう、同じように、この世に多くの命が生まれてくる中で、「人間」として生まれることはとても稀であり、ほとんどの命は小さな虫となり、犬猫となり、魚などになる。



どれほど稀なことなのか、他にも仏様のこんな例え話が有名です。大海の底に住む目の不自由な亀が、百年に一度海面に顔を出すその時たまたま海を漂っていた浮木があり、偶然その浮木に小さな穴が空いており海面に顔を出した亀の頭が、すっぽりとその浮木の小さな穴にはまってしまったこれぐらいありえないこと、偶然であり奇跡であり、難しいのが、人間として生まれてくることなのだよ、と伝えられています。（「雑阿含経」盲亀浮木の教え）

それに比べて「三悪道」つまり地獄道・餓鬼道・畜生道に墮ちるものは・・・と次回に続きます。

今月のひまわり

ろくろくお花見もできないうちに桜は散って、山では柔らかい若葉が鳥と共に一斉に歌い出し、風はきらきら楽しそうに伴奏しているようです。昨年夫婦で山のあちこちから移植したシヤガも、今年は小道に沿ってすいぶん花を付けています。そろそろお寺は大山蓮華の香りに包まれます。

さて初夏の台所で一番心弾むのは、山で採ったフキが美しいひすい色に仕上がるときです。フキを採って歩いていくと、幼い頃読んだ「ふきまんぶく」（田島征三）の絵本を思い出します。泥絵具で力強く描かれた一枚一枚の絵は、今でもはつきり思い出せる程強烈で独特で、土の匂いがしました。その主人公ふきちゃんもフキの茎のすべり台で遊ぶシーンが大好きで、自分も一緒に遊んで何度も空想の中でそのすべり台をすべったものでした。

田園風景に鯉のぼりが泳ぐ季節。お釈迦様は悟りを開かれた後「衆生ごとくこれ我が子なり」とおっしゃいました。子どもの日を目前に考えてみると、仏様の懐で子どものように遊んでいるのは今も昔も変わらないのに、大人になると自分が仏様の子であることを忘れがちになるようです。

「かたつむり 登らば登れ 富士の山」山岡鉄舟 登れるか否か打算することなく登り始めるカタツムリ、同じように仏心が自分の中にあるか否か打算することなく、仏様の子として愚直に仏心を信じ、日々小さな歩みを重ねていくのであります。

シリーズ 北野のおばあちゃんの味

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

我が家のラーメンがおいしくなる？ 破竹のメンマ

- ① 破竹はアクがほとんどないので、いきなり切る。皮をはいで300gほど。切り方は根元の方を輪切りにしてから細い短冊のように切る。
- ② ゴマ油でよく炒める。
- ③ しんなりしたら、中華スープの素4gを200ccのお湯で溶かし入れる。
- ④ 酒大さじ1、砂糖大さじ半分、しょう油大さじ1.5も入れて、煮含める。
- ⑤ 煮詰まってきたら、みりん大さじ半分とラー油を回し入れ、水分を飛ばす。



タケノコの中でも破竹が一番合うと思うよ。たくさん作ってピン詰めしとけば、ラーメンの日にいつでも食べれるよ。息子の晩酌でなくなることもあるけど（笑）



～ うちの宗教って、どんなやつけ? ～

第二十六回： 食事五観文 ①



大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話

私達仏教徒は、食事をする際にどんなことを思い「いただきます」と手を合わせるのか、この食事五観文にやさしく説かれています。ご家庭の食卓を囲む時、ほんの少し思い出していただければと思います。

「一つには、功の多少を計り、彼の来処を量る」

お米も野菜も魚やお肉も、一つ一つがどれだけ努力と時間をかけて作られてきたのか生産者の方は、わが子のようにかわいって大切に食材を作り

お嫁に出す気持ちで出荷すると言います。

目の前にある食材の奥には、計り知れない誰かの愛情があることを忘れず、きちんと思いを馳せる「功の多少を計り」の一文にはそんな意味が込められています。

そしてそんな食材が、食卓に並ぶまでどれほど多くの人に関わって運ばれてきたのか大きく育った豚をお母さんが殺してさばくことはありません。

遠く海外の食材が手に入るのは運んでくれる人がいるおかげです。

目に見えていないだけで、たくさんの人の手を渡って

最後にお母さんがお料理をして食卓に並びます。

このように「彼の来処を量る」と、

「私のお金で買った」だけではない、食の深みをしみじみと感ずります。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

5月24日(日) (内300円は義援金)
(朝8時～9時) 一回500円
要申込

4月写経会 備忘録

気持ち良い快晴に恵まれ、初夏の空気が漂い始めた4月の写経会。今回は、初めて写経会に参加して下さった方が5名いらっしゃり、お部屋も手狭に感じられたのではと心配でした。でも皆様のご協力のおかげで、スムーズに和尚様のお話が進みました。今回は落語「のっぺらぼう」をお楽しみいただきつつ、のっぺらぼう同様「無眼耳鼻舌身意」の心、「般若の心」をお話しました。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めてまずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りの方がいなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから「完全個別永代供養墓」といいます。詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、ご予約の上 ご来山ください。